

新潟市北区郷土博物館運営方針

—新潟市北区郷土博物館 基本構想—

趣旨

縄文時代からこの地方で生活してきた先人たちは、厳しい自然に適応し、利用し、闘うなかで文化や産業を形成してきた。わたしたちはこれらの重要な文化遺産を収集し、保存展示することによって郷土の歩みをみつめ、より豊かな生活の創造をめざし、未来に向かって郷土を考える市民のための博物館とする。

テーマと機能的役割

- (1) 「北区の歴史と文化」をテーマとし、郷土を伝える博物館とする。
- (2) 北区は新潟砂丘列が発達し、越後平野の典型的な構造を示している。そのため、常設展示は、収蔵資料や指定文化財等を有効に活用し、子どもたちをはじめ、市民が地域の土地や歴史文化、伝統を理解・共有し、地域の魅力を再発見できる活動を行う。
- (3) 市民の生涯学習に寄与し、多様な文化的欲求や関心に応え、教養の場、憩いの場を提供する。
- (4) 郷土の理解、認識を踏まえ、新たな時代に向けてのイマジネーションをかきたてる場とする。
- (5) 学校教育、各分野の研究者、県内外の来訪者に対する情報提供を行う。

事業

(1) 常設展示 常設展示室

常設展示のテーマは 「阿賀北の大地と人々の暮らし」とし、収蔵資料や指定文化財等を有効に活用して展示を行う。

(2) 企画展示 特別展示室（集会室）、ホール

地域に関する調査研究活動の蓄積を基にして特別展示を行い、歴史、民俗、美術、書など、各分野の研究と資料の公開に努める。また、市民の自発的研究、学習成果の発表の場、小音楽会、市民ギャラリーとしても活用する。

(3) 教育普及活動 集会室（特別展示室）、ホール等

講演会、体験教室、講座、見学など幅広い年令層を対象に、郷土の歴史・文化の学びを支援する。また、市民の展示や収蔵資料の研究、郷土史関連図書の閲覧や学習の相談に応じるとともに情報提供を行う。さらに、博物館の良きパートナーとなる各サークル活動を支援し、相互に協力する。

(4) 収集・保存 収蔵室、郷土資料収蔵庫

考古、民俗、歴史、美術、書など郷土に関する貴重な資料を収集・保存する。

(5) 調査・研究 事務室、図書室、収蔵室、郷土資料収蔵庫

博物館の基盤となる活動で、収蔵資料や地域の歴史・文化についての調査研究を計画的に継続し、その成果を展示や出版、教育普及事業などを通じて公開する。